

定期点検と調節

▲ 注意

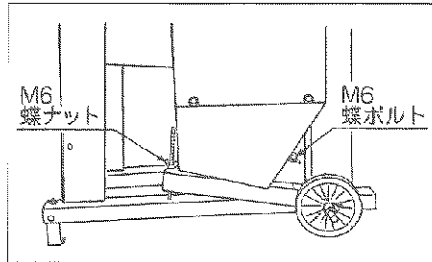
- 点検作業は必ずモータの電源コードを外してから行なってください。
- 点検で外したカバーは必ず元通りに取付けてください。

点検・調節

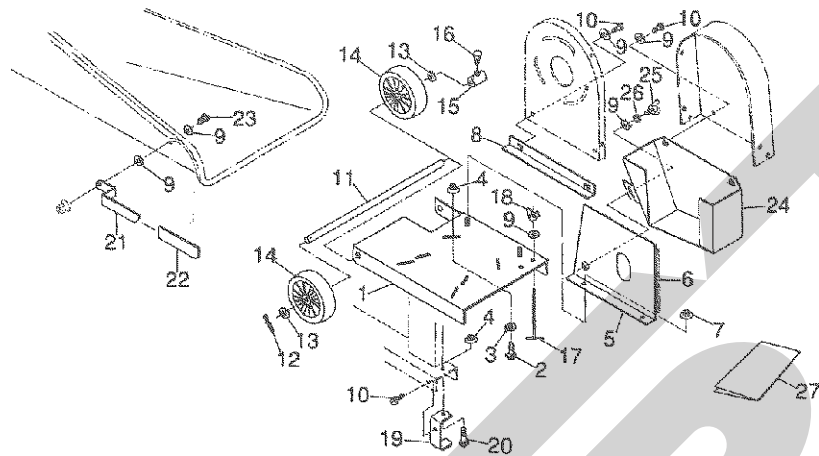
項目	実施時期
ベルトの張り	20時間ごと・交換時
ベルトカバーの掃除	10時間ごと

■ベルトの調節

ベルトがスリップしたときは、M6 蝶ボルトをゆるめ、張りボルトの蝶ナットを締込んでください。



純正部品表



図番	コードNo.	品名	個数	備考
1	71826-1111-1	ベース(モータ)	1	
2	01611-50630	カクキマルアクリルボルト	4	M6×30
3	04013-50126	ヒラサガネ	4	M12(φ25×t23)
4	02021-50080	フランジナット	6	M8
5	71826-1112-1	カバー(モータ)	1	
6	57956-8315-2	16Sスプリング	1	
7	03021-50060	フランジナット	2	M6
8	71826-1113-1	カバー(ベルト)	1	
9	87471-5117-1	19マルザ	10	M6(φ19×t16)
10	01292-50614	ボルト	6	M6×14
11	71816-1112-1	シャフト(シャシ)	1	
12	05511-50325	ワリピン	1	厚φ×25
13	04013-50140	ヒラサガネ	2	M12(φ25×t23)
14	71816-1113-1	シャシ	2	

図番	コードNo.	品名	個数	備考
15	71826-1114-1	スラー(18)	1	
16	01100-50814	ボルト	1	M8×14
17	71816-1115-1	Tボルト	1	
18	02910-50060	チヨウナット	1	M6
19	71826-1116-1	スタンド	2	
20	01150-50820	ボルト	2	M8×20
21	71826-1112-1	モータ	2	
22	22908-1125-1	デッピンギヤキャップ	2	
23	03014-50620	ナベコネジ	2	M6×20
24	71826-2111-1	カバー(ブレード)	1	
25	01811-50815	チヨウボルト	1	M6×15
26	04512-50060	ハネサガネ	1	M6
27	71826-3111-1	トリアツカイセツメインコ	1	

品番 71826-3111-1

CR型カッタ用モータベース

取扱説明書

CR-M1

はじめに

このたびは、本製品をお買上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書には、本機の正しい安全な使いかた、保守点検などについて記載してあります。本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんご理解ください。
なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

■ 危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

安全のため必ず守っていただきたいこと。

- ▲ **警告** …… もし守らないと、重傷事故を引き起こすことがあります。
- ▲ **注意** …… もし守らないと、負傷事故を引き起こすことがあります。

■ ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社までお問い合わせください。

軽い故障でも重大事故につながる場合がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

▲ 警告

- 本機はCR型カッタ専用のモータベースとして設計されています。このほかの用途には使用できません。
- 改造して使用することは、しないでください。

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

注意 安全のため必ずお守りください

1. 使用前にこの取扱説明書をよく読み、理解すること。
2. 組付作業は必ず電源コードを外した状態で行なうこと。
3. 作業前にモータの周囲にあるわらくず・ごみなどをきれいに取除くこと。
4. カバー類を外したままでは回転させないこと。
5. モータの始動は周囲の安全を確認してから行なうこと。
6. 点検作業は必ずモータの電源コードを外してから行なうこと。

使用前の準備

注意

- 組付作業は必ず電源コードを外した状態で行なってください。
- カバーを外したままでは回転させないでください。回転時に巻き込まれケガをします。

1. モータプリー径とVベルトサイズの選定

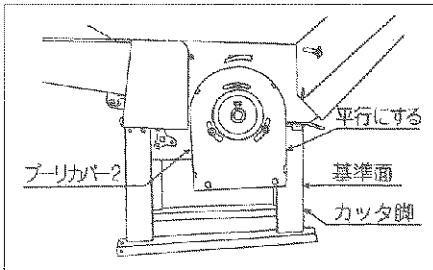
■カッタ主軸回転数は950～1000rpmに設定します。
モータプリー径とVベルトサイズは右表を参照してください。

モータ回転数 (rpm)	モータプリー径	ベルトサイズ
1400 (モータ50Hz)	B-4"	3-#38
1700 (モータ60Hz)	B-3 1/2"	3-#37

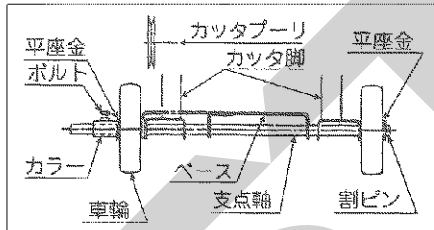
■60Hz地区で三相100Wのモータを使用する場合だけVベルトサイズは、B-#38を使用してください。

2. モータベースの組付け

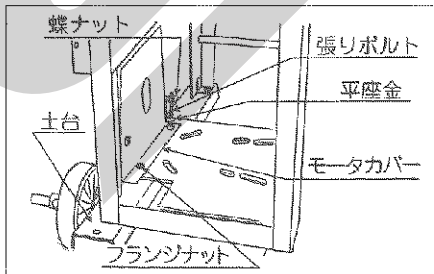
- ①プリーカバーを外す。
- ②プリーカバー2をカッタの脚に平行になるようM6ボルトで調整する。
カッタ出荷時は平行になっていません。調整する必要はありません。



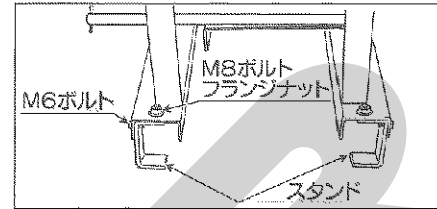
- ③ベースをカッタ本体の脚間に入れ、支点軸を差込む。
- ④支点軸に車輪を組付け、割ピンとカラーで位置決めをする。
M14平座金 2個
割ピン 3×25 1個
M8×14ボルト 1個



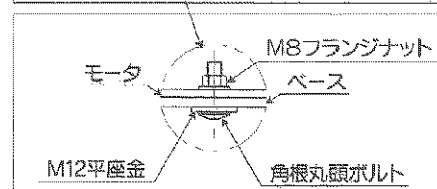
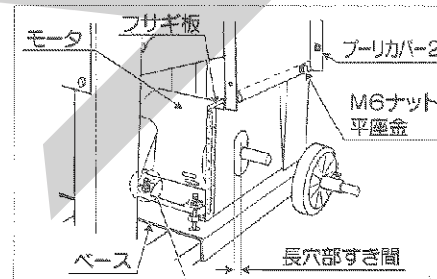
- ⑤張りボルトをカッタの土台からベースに組付ける。
M6平座金 1個
M6蝶ナット 1個
- ⑥モータカバーを組付ける。
M6フランジナット 2個



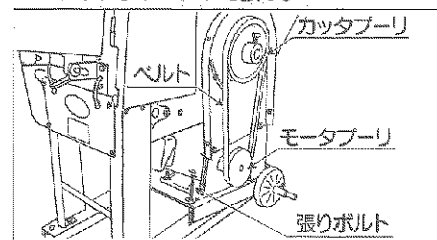
- ⑦スタンドをカッタの土台に組付ける。
M6×14ボルト 2個
M8×20ボルト 2個
M8フランジナット 2個



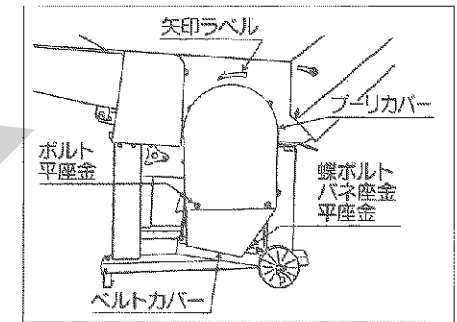
- ⑧フサギ板をプリーカバー2に組付ける。
M6×14ボルト 2個
M6平座金 2個
- ⑨モータの軸をモータカバーの長穴部に差込み左右のすき間が同じになるような位置でモータをベースに組付ける。
M8×30角根丸頭ボルト 4個
M12平座金 4個
M8フランジナット 4個



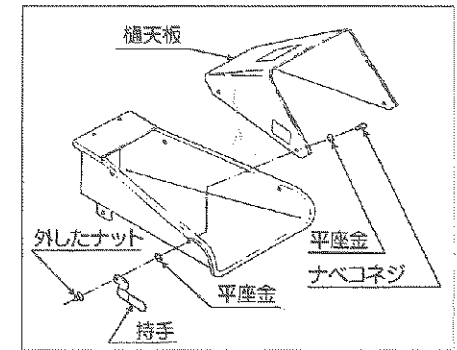
- ⑩モータプリーをカッタのプリーセンタと合わせ、軸に固定する。
- ⑪ベルトを掛け、張りボルトでベルトがスリップしないようベルトを張る。



- ⑫プリーカバーを組付ける。
- ⑬ベルトカバーを組付ける。
M6×14ボルト 2個
M6×15蝶ボルト 1個
M6平座金 1個
M6平座金 3個
- ⑭モータ回転方向を矢印ラベルに合わせる



- ⑮樋天板のナベコネジ2本 (供給側) を外しM6×20ナベコネジと交換し持手を組付ける。
M6×20ナベコネジ 2個
M6平座金 4個
- ⑯持手を、外したナットでロックする。



■移動するときは、持手を持って移動できます。作業時は持手を格納してください。

